

## 気象災害対策

令和元年10月15日

台風19号による農作物等の被害拡大防止に向けた技術対策（事後対策 その2）

農業総合センター

専門技術指導員室

## 農作業安全

### 1 事後対策は安全を確認してから

増水した水路その他危険な場所に近づかず、足場等、圃場周辺の安全に十分注意し、転落、滑落事故など二次災害の防止を徹底し慎重に行うようにしてください。

### 2 浸水した農業機械はスイッチを入れる前に整備点検を

浸水した農業機械は整備業者等が点検する前にスイッチを入れた場合、エンジンが破損するおそれがあります。また、バッテリーや電子制御装置、モーター部、配線の一部が浸水した場合には、電装品や電気配線がショートしやすくなっており、漏電の危険があります。また、最悪の場合、火災につながる場合があります。

必ず、近くの農業機械販売店などに整備点検を依頼し、点検前に農業機械のスイッチを入れることはしないでください。

## 油類が水田に流入したとき

### 1 水稲刈取り前の対策

#### (1) 滞水中の場合

下流の水田に流入しないよう注意して落水し乾田化に努めてください。油分を土壤表面に留め、空気にさらして酸化分解\*を促進させます。

#### (2) 落水後の場合

そのまま油分を土壤表面に留め、空気にさらして酸化分解\*を促進させます。

### 2 水稲刈取り後の対策

(1) 乾田化に努め、油分の酸化分解\*を促進させます。

(2) 分解を促進させるため、アルカリ資材（消石灰の場合、10aあたり100kg以下）を施用してください。

\* 土壌中の油分の分解速度は、土壌条件によって異なるが、およそ1カ月で50%、3カ月で70～80%とされています。